

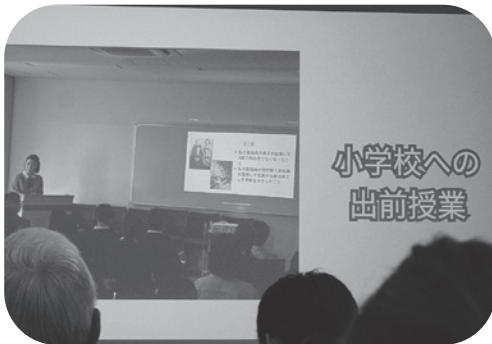


兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

4月29日に「高校生平和大使を支援する兵庫県実行委員会 第7回 総会
ならびに第28代高校生平和大使・サポーター活動報告会」に参加しました。

2026 **6**



高校生平和大使
被爆地である長崎から始まった高校生による平和活動団体のこと。
1998年から現在まで全国各地で核兵器廃絶と平和な世界の実現を
訴え、国内外に向けた発信を行っています。





一般社団法人日本協同組合連携機構 (JCA)
代表理事専務

山下 富徳
(やました・とみのり)

協同組合の認知度向上と 若い世代へのアプローチ

JCAでは3年ごとに「協同組合に関する全国意識調査」を実施しています。18歳以上の男女、各都道府県約四百人、計約2万人を対象として、協同組合に対する認知度・共感度・有益度や、組合員と非組合員の意識の差などを明らかにすることを目的としています。

直近2025年8月の調査では、協同組合に対する認知度について、「協同組合という組織の存在を知っている」のは73・8%と比較的高いのですが、「協同組合の事業や活動」では59・4%、「協同組合の理念」になると39・4%という残念な結果になりました。

この調査結果を踏まえ、関係者から「認知度向上が課題。2025国際協同組合年 (IYC) では一定の成果があったものの、その取り組みは協同組合関係者中心で、一般市民や若者を巻き込む力が弱く、特に協同組合と接点や関心が少ない若い世代へのアピールや理解を得る取り組みが不足していたのではないか」との指摘をいただきました。

一方で、「若い世代は協同組合に無関心というわけではなく、意識調査結果では、特定の分野 (教育、ジェンダー、働きがい、パートナーシップ) に高い関心を示しており、そこに協同組合の将来的な発展の可能性があるの

ではないか」との前向きな指摘もいただきました。

学習や広報企画の手法・ツールをブラッシュアップし、全国の協同組合が力を合わせて、社会全体・一般の方々へわかりやすく発信する、息の長い取り組みを仕掛けていく必要があります。また、若い世代への訴求テーマや協同組合との多様な接点づくりが今後の鍵となるのではないのでしょうか。

JCAでは、IYC記念事業として、経済的困難、家庭機能の脆弱化、社会的孤立など課題を抱える若者・子どもを支援する「協同組合による若者・子どものための大きな応援団」実行委員会を2026年度に組織します。

若者・子どもは、組合員、利用者、役員として、これからの協同組合を支えていく重要な存在です。協同組合が存立する地域が持続可能であるために、若者・子どもたちの健全な成長は必須です。また、若い世代と協同組合との多様な接点づくりにつながる可能性もあります。

具体的な活動はこれからですが、次のIYC2035に向けて、取り組みを進めていきたいと思えます。

(注)「協同組合に関する全国意識調査2025」(2026年3月 JCA)



CONTENTS

- | | |
|--|--|
| 2. 想点 | 5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 3. ひょうごまるごと健康チャレンジ2026第2回実行委員会／第1回兵庫JCC幹事会 | 6. 第104回国際協同組合デー・兵庫県記念大会のご案内／県連行事予定／編集後記 |
| 4. 協同組合のかけ橋 | |

ひょうごまるごと健康チャレンジ2026 第2回実行委員会

5月13日、「ひょうごまるごと健康チャレンジ2026」第2回実行委員会を開催しました。

今年度は、チャレンジシートのコース名や、チャレンジ例を一新しました。実行委員の皆さんからさまざまな意見やアイデアが出され、参加される皆さんがより楽しく、無理なく健康づくりに取り組めるよう、「親しみやすさ」や「取り組みやすさ」などを意識しながら、活発な協議が行われました。

今年度もチャレンジ期間は、7月から11月までを予定しています。新しくなったチャレンジ内容を通して、自分に合ったメニューを選びながら、楽しんで健康習慣づくりに取り組んでいただければと思います。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



第1回兵庫 JCC 幹事会

5月20日に2026年度第1回兵庫 JCC 幹事会が開催されました。

会議では、第43回兵庫 JCC 委員会、第104回国際協同組合デー・兵庫県記念大会の内容を確認しました。また、第11期となる今年度の虹の仲間づくりカレッジについて、多くの意見や提案が出され、具体的な内容、進め方について有意義な意見交換が行われました。



兵庫 JCC とは

兵庫県協同組合連絡協議会は、兵庫県下の11の協同組合や連合会が参加する兵庫県の協同組合の連携組織です。

協同組合のかけ橋

JF

JF 浜坂

ほたるいか祭り&地えび開催

日本海に春を告げるほたるいか漁。全国トップクラスの水揚げ量を誇る JF 浜坂の浜坂漁港にて、4月5日(日)「第28回浜坂みなとほたるいか祭り&地えび」が開催され大勢の来場者で賑わいました。

会場では、カゴに入ったほたるいかをクレーンでつり上げ大釜で茹であげる、「ほたるいか釜揚げ」が大好評でした。ほたるいかの軍艦巻きや甘えびの漬け丼、もさえびの鉄板焼きは早々と売り切れ、同イベント名物のほたるいかのしゃぶしゃぶや沖漬けにも長い行列が出来、他にもほたるいかのフライや炊込み御飯など様々なほたるいかや地えびグルメが多数販売され大盛況でした。

また、ステージでは制限時間内に食べた数を競う「全日本わんこほたる選手権」では熱戦が繰り広げられ、他にも新温泉町特別観光大使の水瀬団さんによる歌唱披露、地元で大人気の「ももいろクロおばあZ」や「スパパラダイス・ウインドオーケストラ」、地元の学校「浜坂高校ダンス部」や「浜坂中学校吹奏楽部」などの催しが繰り広げられ、会場を盛り上げてました。



ほたるいかの釜揚げ



ほたるいかのしゃぶしゃぶ



当日の様子

JA

JA 兵庫南

朝市や地域のイベントを通じて、地元産農産物の魅力を発信する

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介いたします！

Q1. 組織の成り立ちについて教えてください

40年前、稲美町には農産物直売所がなく、町民からは「地元で採れた新鮮な野菜を手ごろな価格で購入できる場が欲しい」との要望が、役場に多く寄せられていました。こうしたニーズに応えようと地元の生産者が集い、出荷基準を満たさない規格外の野菜を安価で販売。生産者と消費者が直接つながる場として、朝市が運営されるようになりました。

昭和63年には、「いなみ朝市実行委員会」を設立し、現在は世代交代を経て、2代目が中心となった委員35名が運営を行っています。

Q2. いなみ朝市について教えてください

朝市はJA兵庫南の直売所「ふあ〜みんなSHOP いなみ」の駐車場で、毎週土曜日の朝7時から開催しており、生産者が地元で収穫した野菜や生花を対面で販売しています。

「お客様との交流、対話をする」をモットーに、単に販売するだけでなく、おすすめの調理方法や農産物の品質、時には栽培方法の相談に乗るなど、消費者と積極的にコミュニケーションを図っています。

Q3. 組織の取組みについて教えてください

本委員会では、活動を広く知ってもらうために、イベントへの出店・開催情報、野菜の豆知識などを掲載した「いなみ朝市通信」を年2回作成しています。また、SNSや新聞など、多様な媒体による情報発信に取り組み、幅広い世代への認知向上に努めています。

Q4. 現在、力を入れている取組みについて教えてください

毎年10月には、町内各地で「コスモス祭り」が開催されます。町花であるコスモス約100万本が咲き誇り、阪神間や近隣の市町からも多くの方が訪れるため、本委員会では野菜の収穫体験や販売などを催し、地元で採れる農産物の魅力を精力的にPRしています。

Q5. 今後の目標について教えてください

SNSや広報誌などを活用した情報発信を続け、より多くの方に本委員会の活動や地元の魅力ある農産物について知っていただきたいと思っています。

また、若年層や子育て世代などには、野菜の植え付け・収穫などを企画し、「体験」を通じて、農業への興味や地元への関心を促していきたいと考えています。





令和8年度 消費生活講座

参加
無料

『生きる力』と『住まう知恵』

～南極の台所と害虫の研究室から学ぶ～

6/22 (月) 14:00～15:30 見逃し配信あり

南極の経験を伝授！ 『究極の調理術』

～楽しく美味しい食品ロスの削減法～



資源が限られた南極での料理作りにヒントを得て、調理の工夫のこつを学び、地球環境負荷の少ない生活を目指しましょう！

第57次南極地域観測隊
調理隊員

渡貫 淳子 氏

Zoom参加申込



〈講師プロフィール〉

第57次南極地域観測隊に調理隊員として参加。現在は食品アップサイクル事業も行う。「世界一受けたい授業」（日本テレビ）紹介の悪魔のおにぎりが話題となる。

7/10 (金) 14:00～15:30 見逃し配信あり

害虫を正しく知って 効果的な対策を！

～100万匹を飼育する専門家が教える
蚊やダニの防御法～



夏に悩まされる蚊やダニ。生態を知り尽くしたプロだからこそ伝えられる、本当に効果的な対策とは？すぐに役立つ実践的なノウハウをわかりやすく解説します！

アース製薬(株) 赤穂研究所

有吉 立 氏

Zoom参加申込



〈講師プロフィール〉

美術学校卒業後、異業種を経てアース製薬に入社。以来28年間、研究部にて害虫の飼育・撮影を担当。著書に「きらいになれない害虫図鑑」。メディア出演等の活動を通じ、害虫に関する正しい知識の啓発に尽力している。

兵庫県在住・在勤・在学の方

会場参加 兵庫県立消費生活総合センター 先着30名

- ①電話：☎ 078-302-4001（平日10時～17時）
- ②申込サイト：右の**会場参加申込**からお申し込み下さい。

オンライン参加 Zoom ウェビナーでの視聴 先着200名

- ①申込サイト：上記の**Zoom参加申込**からお申し込みください。
- ②Zoom ウェビナー招待メールが届きます。当日、参加リンク部分をクリックしてご参加ください。
※申込後、数時間たっても招待メールが届かない場合は、下記までお電話でお問い合わせください。
- ③見逃し配信6/22講座：6/22(月)17:00～6/25(木)24:00
7/10講座：7/10(金)17:00～7/13(月)24:00

ご登録いただいた個人情報は、講座の運営管理にのみ使用いたします。

申込み方法

お問合せ

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-20
兵庫県立消費生活総合センター 消費生活情報プラザ TEL：078-302-4001(平日10時～17時)

会場参加申込



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

毎年この時期になると、今年の夏は「過去一」で暑くなるらしい、という話をどこかしこで聞きます。過去一番の暑さを毎年更新しているのではないかと、思わずるを得ません。とはいえ、暑い時期が少しでも短ければと願うばかりです。今年はどうか秋がきますように。

空き家や空き地が増えて問題だというお話をしていました。私のご近所でも空き家や空き地がところどころ見受けられます。空き家に蜂が巣をつくっていることもありました。空き家や空き地は周辺の衛生環境も悪くなり、倒壊の危険も増してしまうことから、近隣にそのような場所を見つけたら、行政に空き家空き地の相談窓口があったりするので、そこに相談や問合せをしてみるのもいいかと思います。また、民法が改正されて新しい制度もできています。それは、空き家や空き地の所有者がわからない、行方がわからないために適切な管理がされていないときに、利害関係人が地方裁判所に申立てることで、管理人を選任してもらうという制度です。今、この制度の利用も進んでいるようです。ぜひお知りおきいただけたらと思います。

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com



MOVE

第104回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会のご案内

協同の力で未来をつくる

～SDGs 達成に向けた地域との共創・平和で持続可能な地域社会づくりへの貢献～

国際協同組合デーは、毎年7月の第1土曜日に、世界の協同組合の仲間が心をつなげて、協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために協同組合運動の前進を誓い合う日です。

この日に先駆けて兵庫県記念大会を行います。

記念講演では上岡美保氏をお迎えし、「食と農の『協同』で笑顔の未来を！～“大人の食育”が支える、活力ある持続可能な地域づくり～」をテーマにお話しいたします。ご参加をお待ちいたしております。



◆とき：2026年7月3日(金) 13:30～16:00

◆ところ：神戸市東灘区文化センター5階「うはらホール」
兵庫県神戸市東灘区住吉東町5丁目1-16

◆プログラム：I部 記念式典

II部 記念講演

「食と農の『協同』で笑顔の未来を！

～“大人の食育”が支える、活力ある持続可能な地域づくり～」

講師 上岡 美保氏

◆定員：230名 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

◆入場料：無料

◆主催：兵庫県協同組合連絡協議会 (兵庫 JCC)

兵庫県生活協同組合連合会

兵庫県農業協同組合中央会

兵庫県漁業協同組合連合会

ひょうご森林林業協同組合連合会

◆お申込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会

電話：078-894-3207

悪天候等、諸般の事情により中止する場合は、当日朝9時に兵庫県生活協同組合連合会ホームページに掲載いたします。

兵庫県生活協同組合連合会

検索



上岡 美保 (かみおか みほ) プロフィール

■東京農業大学 副学長
■同大学 国際食料情報学部 国際食農科学科 教授
東京農業大学農学専攻科農業経済学専攻博士後期課程修了。博士(農業経済学)。専門は、農業経済学、食料経済学。主な研究内容は、食料消費構造変化の解析、食育の効果と社会的意義、地産地消の在り方等、食と農に関する調査・研究。農林水産省食料・農業・農村政策審議会委員、内閣官房教育未来創造会議(第一次提言)構成員等を歴任。現在、農林水産省食育推進会議委員、JA全農経営管理委員。
■掲載誌・メディア
家の光協会『家の光』2025.12月号「日本の未来のために 大人の食農教育」116-118頁、ディスカバー・ジャパン『Discover Japan』2025.5月号「食品ロスから考えるニッポンの食の未来」62-64頁、日本経済新聞社『日経サイエンス』2022.09月号「親と子の科学冒険 食農教育のススメ」98頁、家の光協会『ちゃぐりん』2022.06月号「小島よしおの研究室へGO! GO! 食育ってなあに?編」22-25頁、等に特集記事掲載。
NHK「おはよう日本」(小学校で広がる「食べられる校庭」)2025.06.04放送、NHK「所さん!事件ですよ」(おいしいのに食べられない!?食の最前線)2023.04.27放送、BS朝日「工藤阿須加が行く 農業始めちゃいました」2025.12.17放送等に出演。



5月2日、「山口町でメンマを作ろう」という企画で、つどい場バンブーさんを訪れ、メンマ作りの工程を体験しました。
この企画は、「虹の仲間づくりカレッジ」でのつながりがきっかけとなり実現したものです。当日は、タケノコの収穫から、切る・茹でる・塩に漬け込む作業まで、普段なかなかできない貴重な体験をしました。
特に印象的だったのは、娘が夢中になってタケノコを収穫していた姿です。小学生にとって、自分の手でタケノコを収穫する体験は、とても新鮮だったようです。
今回の体験を通して、人との出会いや地域のつながりの大切さを改めて感じました。今後も、こうした活動を通じて、さまざまな「輪」や「つながり」が広がっていき嬉しく思います。(後内)

編集後記

- 6月1日 第7回理事会
- 6月17日 兵庫JCC事務局会議
- 6月22日 第76回 通常総会 第1回理事会
- 6月25日 ひょうごまるごと健康チャレンジ 2026実行委員会

県連行事予定